

一年、 前へ！

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。皆さまにおかれましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月の参議院選挙後、日本史上初めてとなる女性の総理大臣が誕生するなど、政治や社会にとって大きな転換の年となりました。

また、気候変動などを起因とした米価の高騰や、円安による輸入コスト上昇などの影響を受けた物価高騰が長期化し、依然として、私たちの生活に大きな影響を与え続けています。



駅みなみの開発が進んでいます！



未来へ駆け出す とともに

一方、7月に開催された世界水泳選手権2025シンガポール大会では、遠賀町出身の鈴木聰美選手（ミキハウス）が、競泳女子100メートル平泳ぎで自己ベストを更新して4位に入賞し、また、9月の国民スポーツ大会でも、自己ベストをさらに更新して優勝。11月のジャパンオープン2025でも、女子平泳ぎ三冠を達成するなど大活躍し、その常に挑戦し続ける姿勢で、私たちに多くの夢と感動を与えてくれました。

JR遠賀川駅南地区では、組合による土地区画整理事業が進んでおり、住居表示の町名を「駅みなみ」と決定、10月にはハウスメーカー6社へ整備した土地38区画の引き渡しを開始するなど、駅を中心とした新たなまちづくりの一歩を踏み出しました。さらに、本年は住宅用地に加えてマンション、病院、商業用地の区画を引き渡す予定となっており、町民の皆さまの暮らしを充実させる施設の拡充が予定されています。

本年の干支は「丙午」。^{ひのえうま}「午」は「前進」を象徴しており、「努力が実を結ぶ」年になるといわれています。皆さんとともに前へと進み続けた結果、長年の悲願である駅みなみ地区の開発が、まさに実を結び始めることとなります。しかしながら、まちづくりに終わりはなく、さらに前進し続けなければなりません。先の見えない物価高騰など厳しい状況も続きますが、その影響を受けている全ての方へしっかりと支援を行いながら、昨年配布を開始した戸別受信機を活用して、行政情報の発信力強化や防災・減災力の向上を図り、さらには子育て支援の一層の充実に向け、スピード感をもって前進し続けることで、町の将来像である「まちがつながりひとつがつながる 未来へつなぐ遠賀町」を実現してまいります。

結びに、本年が皆さまにとって、夢と希望に満ちた一年になりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

遠賀町長 古野 修

給食費の半額を補助！

